

園名	子どもの森南町田保育園
日時	2025年10月
実践者	原田円
対象年齢人数	1歳児10名

テーマ おままご

テーマを設定する

- おままごとの見立て遊びをすることで、想像力表現力を育む
- コミュニケーションツールとしての活動

環境をデザインする

- 準備物
おままごと材料・キッチン

探求活動を実践する

1歳のおままごとあそびでは、想像力を育むために、家でよくみるようなキッチン材料を用意した。見て、すぐに楽しいとわかるもの。

キッチンを用意し、テーブルを準備すると子どもの心は踊り始め、目が輝き始めた。少人数の為、取り合いも見られず、十分に遊びに入れる。すいかやフライパン、包丁など1歳児でも遊び始める様子が伺える



振り返り・気づき

振り返り おままごとは、コミュニケーションによる言葉の促し、家で大人がする料理の模倣「あっこんなことママがしていたな」という嬉しさが、おままごとで再現される喜びにつながっていることがかいまみられた。1歳児だと、再現や、模倣を、コミュニケーションツールというのは、難しいが、数を重ねたり、年齢を重ねることにより、本来の目的を育むことができると感じた。

反省・次回への課題

- 保育者側が片付けをしやすいように配置、分類する。また、子どもがすぐに手に取り出しやすいようにする。1歳児なのでしかたがないが、投げたり、キッチンの隅に落とすことが目的になるので、どのように対応していくか話し合っていく。